

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社プレパレーション

② 施設・事業所情報

名称：相模大野雲母保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：望月 美和子 代表取締役 村越 秀男	定員（利用人数）： 60 名	
所在地：神奈川県相模原市南区相模大野七丁目37番10号		
TEL：042-701-6075	ホームページ： https://www.kirara-hoikuen.com/about/hoikuen/sagamiono/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2019年4月		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社モード・プランニング・ジャパン		
職員数	常勤職員： 18名 非常勤職員 0名	
専門職員	（専門職の名称） 名	保育士 15名
		管理栄養士 3名
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室 4	子どもトイレ 10
	遊戯室	大人トイレ 2
	更衣室 1	園庭 有() 無(O)
	事務室 1	その他 誰でもトイレ
調乳室 1		

③ 理念・基本方針

～輝く明日を信じて～ 自分の足で歩むチカラ

信じる事がチカラにかわり

「やってみよう！」という強い気持ちが生れます。

信じてもらっているという思いが

自分の素直な気持ちを表現できるという安心感につながります。

私たちは、どんなときもひとりひとりのチカラを信じ、

ありのままを受け止めて見守ります。

穏やかな環境の中で様々な経験をし、共に学び、自分を信じて、真の優しさと強さや相手を思いやる気持ちを育てていきたいと思えます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

1、健康な心と身体を育む

雲母保育園では以下の保育方針を定めて園運営をしています。

「健康な心と身体を育む」

具体的には、子どもの最善の利益を追求し、将来の自己実現へ向けた基礎を培う。家庭及び地域との信頼関係を築きながら、保護者が自ら子育てをする力を発揮できるように支援するという姿勢を全体的な計画に定めています。

保育目標として以下の子ども像を掲げています。

「自らの心と身体の健康を大切にできる子ども」

「まわりの人々の思いに気づき、社会の一員としての生活を目指せる子ども」

「自ら考えたことを表現し、様々な人と親しみをもって関わり合おうとする子ども」

「主体的な意思に基づいて行動し、探究心をもって考えられる子ども」

2、食育

「食との出会いから心身ともに健康で豊かな人を育てる」をスローガンに食育に取り組んでいます。

管理栄養士・栄養士を2名以上配置し、毎月テーマを決めて展開されるサイクルメニューではない園独自献立、毎日園で調理される給食、きめ細やかな離乳食対応などで安心安全だけでなく楽しみになるような給食の提供を行っています。

日々の保育の中でも栽培活動やクッキング保育、「先生」のひとりである管理栄養士・栄養士との関りが子どもたちの食への関心を培う機会となっています。

毎月の給食だよりでの情報提供や、年に2回姉妹園と合同での食の祭典「給食フェア」は子ども達だけでなく保護者の皆さまからも好評いただいています。

3、きらら教室

きらら教室では、パズルやぬりえから言語やさんすうまで、様々なプログラムを通して生活に必要な能力を身につける活動を行います。

言語やさんすうと言ってもむずかしいことを勉強するというものではありません。丸暗記や機械的な学習ではなく、工夫や発見・感じたことを言葉や形にすることで考える力を養います。

保育士とじっくり向き合い、一人ひとりの成長を見守り援助します。楽しみながら集中して考えるため、基礎力・理解力・学習に対する意欲が育ちます。

4、保護者の方々との連携

雲母保育園では園と保護者の方々とのコミュニケーション・信頼関係構築を大切に考えております。毎日お迎えの際に5分間お時間を頂戴し、職員とじっくりお話をさせて頂くことをお願いしています。また年2回以上の個人面談、年3回の保護者会や行事、毎日の連絡ノート・栄養ノートを通し連携を密にとっていきたいと考えております。また、園で行う様々な行事には保護者の方々のご協力が必要です。

5、安全管理

安全計画の策定、定期的な防犯防災訓練の実施、危険箇所をピックアップしたお散歩マップの作成など、日ごろより安全面に関しては細心の注意を払っておりますが、当園では万一の時に備えてセコムセキュリティシステムを導入しております。職員不在時の園内への不審者侵入時や職員による非常ボタンでの要請により、すぐさま警備員が駆けつけるようになっています。

カメラ付インターホンの設置、職員は生体認証での入退出管理を行うなど、徹底した安全対策を実施しており、安心してご利用いただけます。

6、アレルギーへの対応

食物アレルギーに関しては対応マニュアルを整備しており、医師の指示に基づいてアレルギー除去の給食の提供や、アレルギーへの接触に配慮した環境整備を行います。専門知識をもった管理栄養士・栄養士がご相談も承ります。

園内環境としても日頃より清潔を保ちアレルゲンの除去につとめております。毎日の清掃はもちろんのこと、おもちゃは毎日洗浄し、消毒を行っております。シックハウスの原因となる化学物質（※）は一切使用しておりませんのでご安心下さい。（※ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン等）

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年7月1日（契約日） ～ 2024年1月17日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

- ・研修体制が充実しており、人材育成に取り組んでいます

本社では、3年間のビジョンにより「人材の育成」と掲げています。本社では職員のキャリアパス体制を明確にしており、保育士・栄養士・看護師と求められる職員像を示しています。キャリアパスモデルでは、役割と責任など期待する職員像を明確にしており、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されています。職員は、自己評価チェックリストにより評価・反省など振り返りをおこなっており、施設長との面談で必要な知識・技術を確認しています。施設長は、職員の研修計画を立てており、園内研修のほか、職員の経験や習熟度を考慮したキャリアパス研修、外部研修などの受講を勧めています。園では、保育サービスの質の向上に向けて、人材の育成に取り組んでいます。

- ・丁寧な保護者対応、保護者支援を心がけています

玄関先には、子どもたちが制作した季節の作品、絵日記、ドキュメンテーションなどを掲示しており、保護者に保育内容や活動の様子が分かりやすく伝わるよう工夫しています。毎日のお迎え時におこなっている「5分間対応」では、短い時間の中で子どもの状況を細かく伝えるよう心掛けています。また、保護者の声にも耳を傾けて話をよく聞き、子どもの成長を共に喜んだり、子育てに対する考え方に寄り添ったりしながら、子どもも保護者も安心して過ごしてもらえるように努めています。

- ・子どもと地域の交流の拡大・拡充に期待します

開園後の翌年にコロナ禍となり、外部との交流が難しい状況にありました。遠足などの行事開催にも大きな影響を受けながらも、保護者の協力のもと、芋ほり体験など、地域の資源を活用した活動も計画しています。現在は、感染症レベルの5類移行に伴い、高齢者施設との取り組みは少しずつ行われています。隣接している消防署、保育園、こども園、小学校と徐々に交流への取り組みを検討していますが、思うように進んでいない現状があります。「さがみはらんど」での保育園紹介や園庭開放をはじめ、積極的に地域に働きかけ、さらなる関わりを拓けていくことに期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受審し園内の取り組みを客観的に捉えることが出来、園全体としての課題や目指したい姿を改めて考えることが出来ました。今回の評価結果を踏まえ、課題改善に取り組み、次年度以降の保育活動をより充実させることが出来るよう、職員のスキルアップに努めていきたいと思っております。また、地域交流の機会も広げていけるよう働きかけを続け、より開かれた地域の育児支援の場となれるよう努めて参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり